

日立金属スイッチングハブ

ApresiaLightFM シリーズ

Ver. 1.08.01

リリースノート

制定・改訂来歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2014年6月27日	新規制定

Ver. 1.08.01 リリース情報(2014年6月)

機能修正について

このバージョンでは、以下の機能を追加・修正しております。

修正

APLFM-10801-RC001

- 内容 MAC/WEB/802.1X 認証機能において、認証ポートでフレームロスが発生する問題を修正しました。
- 関連 ApresiaLight シリーズ WEB サイト「重要なお知らせ」
・ APLFM シリーズにおいて認証機能(802.1X/MAC/WEB)を使用する場合の注意点
(2014/6/2)

既知の問題について

このバージョンでは、以下の既知の問題があります。

既知問題

APLFM-10800-ER001

- 現象 ApresiaLightFM124GT-SS のコンボポート(Fiber27,28)において、ポート設定を無効(port state disable)にした場合でも、光パワーが出力される問題があります。
(当該ポート及び対向機器はリンクダウン状態となります)

回避策 -

APLFM-10800-ER002

- 現象 SNMP のグループ作成において、再起動時に SNMPv1 及び SNMPv2c の設定が自動で作成される問題があります。

回避策 -

APLFM-10800-ER003

- 現象 MAC 認証において、多数の端末から同時認証(約 1 秒以内)すると認証パケットが複製され認証処理の輻輳により MAC 認証もしくは併用している他の認証(Web、802.1X)が失敗する場合があります。

回避策 -

APLFM-10800-ER004

現象 MAC 認証において、装置起動から 49.7 日を経過する毎に認証済端末が一斉に再認証される問題があります。

回避策 -

APLFM-10800-ER005

現象 MAC/WEB/802.1X認証機能とSTP/RSTP/MSTP機能を有効にした同一装置において端末からのARPブロードキャストを認証ポートとブロッキングポートで受信すると端末のポート移動と誤認識し、認証済みの端末が未認証となる問題があります。

回避策 -

APLFM-10500-ER001

現象 10M-half で設定されたポート間をループ接続した場合、フラッピングをしないことがあります。（その結果、ループ接続状態にありながら、ループが発生していないように見えます）

回避策 -

APLFM-10300-ER001

現象 本装置の起動途中に本装置と接続先装置のポートが一時的にリンクアップ・ダウンします。ログにリンクアップ・ダウンの記録が残ります。

回避策 -

適応機種一覧

バージョン	対象機器
1.00.00	ApresiaLightFM124GT-SS
1.01.01	ApresiaLightFM124GT-SS ApresiaLightFM108GT-SS ApresiaLightFM116GT-SS
1.03.00	ApresiaLightFM124GT-SS
1.04.00	ApresiaLightFM108GT-SS
1.05.00	ApresiaLightFM116GT-SS
1.06.00	ApresiaLightFM108GT-PoE
1.07.00	ApresiaLightFM116GT-PoE
1.07.01	
1.07.02	
1.08.00	
1.08.01	

輸出する際のご注意

本製品や本資料を輸出または再輸出する際には、日本国ならびに輸出先に適用される法令、規制に従い必要な手続きをお取りください。

ご不明な点がございましたら、販売店または当社の営業担当にお問い合わせください。

商標一覧

Apresia は、日立金属株式会社の登録商標です。

Ethernet/イーサネット は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。